



HAPPY MEDIA 仙台市泉区・富谷市 地域みっちゃん生活情報誌®

10

2021. OCT VOL.78

総発行部数

83,900部

無料各戸配布

81,530部

無料設置 2,370部

東証一部・名証一部
[証券コード:2139]

とみいす!

巻頭特集

交流や癒しを生み出すママカフェ

子育て世代の笑顔のために



「センター版特別企画」
秋の暮らしとお出かけ大百科

◎幼稚園・保育園・こども園NAVI

◎グルメ特集 パンと、カフェ。

地元の求人情報が満載! まちJOB まちジョブ

スワイプで使える
クーポンアプリ登場!!

フリモアプリ



OPEN!!



特産品・逸品が楽しめる
全国お取寄せモールサイト

フリモール OPEN!!

全国のご当地品満載! プレゼントキャンペーンも実施中!



ママカフェとは?
子育て世代が一息つきながら、同じ年の子を持つ親同士で情報交換をしたり、活動の幅を広げたりできる場所。ブランチ仙台内、まちづくりスポット仙台で月1回開催中



卷頭
特集

交流や癒しを生み出すママカフェ

市民の活動や交流の場を提供し、

生み出すための支援も行っている

NPO法人まちづくりスポット仙台。

「コロナ禍で加速する子育ての孤立をなくしたい」と、

同所で一年前から続いているママカフェを取り材した。



まちづくりスポット仙台
ママカフェSTAFF

伊藤郁恵さん
佐藤絵美さん



公園やラウンジのように 誰でも自由に集える

ガラス張りで中が見えるオープンな空間には、キッズスペースで遊ぶ親子もいれば、本棚に並んだ本を閲覧する人もいる。テーブル席で仕事を勉強をする人がいたり、おしゃべりを楽しむグループがいたり。子どもから大人まで、皆が思い思いに過ごしている。まちづくりスポット仙台（通称まちスポット仙台）は、長命ヶ丘と桜ヶ丘にまたがる商業施設、ブランチ仙台の中では、近隣住民の交流を生み出すためのスペースを運営するNPO法人。地域や世代をつなぐ環境をつくりながら、スタッフが人々の声を拾い集め、まちの困り事を解決する手助けをしている。何か活動を始めた人の応援をしたり、交流を生む活動にはスペースを貸し出したり

循環が生まれる場所

ママカフェは、イベントを通して子育て世代がホットできたり、活動の幅を広げたりするきっかけを提供。まちスポット仙台を会場に、毎月多様な企画を行っている。中でも人気のが、子ども服と絵本、おもちゃの物々交換会。破損などがなく、まだ活躍できそうなものを寄付すればほかの人が寄付した品から好きなものをいくつ持ち帰ってもOK。成長が早い子どものものは新しいものが必要になる。お金をかけずにはればと、ちょうど一年前の10月、コロナ禍の中でママカフェは誕生した。

ママカフェのイベント予定	
10月 子ども服・絵本・おもちゃの交換会	
11月 宮城学院女子大学おもちゃ箱サークルによる催し	
2022年1月 ママ・マーケット	
※イベントは変更、中止になる場合がある	
※詳細はホームページやInstagramを確認	

information

NPO法人まちづくりスポット仙台

住所／仙台市泉区長命ヶ丘2-21-1 ブランチ仙台 WEST 1F
TEL／022-343-5404
開館時間／9:30～17:30
休館日／火曜(祝日の場合は開館、翌平日が休館)
WEB／<https://www.machispo-sendai.com>
Instagram／machispo_sendai

*宮城県のガイドラインに従い、新型コロナウイルス感染防止対策を実施
*感染状況により、開館時間や利用条件などが変更になる場合も。来館前に要確認

不要不急の外出を控えるようになり、子育ての孤立問題にも拍手がかかった。「ずっと家にいる、隣の家にも気軽に行けない」という話を聞きました。でも、家にこもってばかりではストレスがたまってしまう。息抜きが必要です」と、伊藤さんは話す。そんな背景から、育児や家事を頑張る子育て世代がホットとできるコミュニケーションを広めたい狙いもあった。

「この人たちと一緒にやつたら面白そうと、共通の活動を行う人同士つなげることも。ヨガやお菓子づくりなど、特技のあるママさんにも講師をお願いしています」と、伊藤さん。子育て世代の新たな挑戦も後押しする。

ママによるママのためのコロナ禍のコミュニティー

同所は商業施設の中になり、買い物や食事がてら、ふらっと立ち寄れるのが良い。近隣の児童センターや育児サークルのチラシも置いてあります。でも、家にこもってばかりではストレスがたまってしまう。息抜きが必要です」と、伊藤さんは話す。そんな背景から、育児や家事を頑張る子育て世代がホットとできるコミュニケーションを広めたい狙いもあった。

「専門家ではないですが、一緒に笑い話をしたり、愚痴を聞いたりするだけで、スッキリしたと言つくれる人も。ママたちが笑顔で帰る姿を見るのが何よりうれしいです」と、佐藤さん。「イベント以外でも、ぜひ気軽に立ち寄ってください。おしゃべり目的も大歓迎ですよ。まちスポット仙台のスタッフであると同時に、私たちもお母さんだから」と、佐藤さんが優しい笑顔で話す。

育児に奮闘する母親同士だから、ペースを通して生まれた出会いやりとりは、心に癒しや豊かさも与えてくれる。イベントは感染状況により中止になる場合もあるが、貴重な外出時間が楽しみになる予定を入れて、コロナや育児と戦う日々を乗り越えたい。